

第 9 回

ぎふ木造塾部会

～ 15時30分

ご出席

日時	令和5年1月13日（金）		13時30分～	会場	ふれあい会館405	
出席者 （敬称略）	神山誠副会長	小川太志委員長	村瀬賢一顧問	成瀬幸一相談役	内田実成	桂川麻里
	瀧本実部会長	松岡孝宏副部会長	丸田真	井口直治	田中伸裕	波多野公彦
	青年委員会さんより		竹中秀樹	藤原賢幸		

会議内容

1.挨拶	神山副会長よりごあいさつ		コロナ感染が広がりを避けられないところですが、事業は進めてもらいたい。 注意しながら、慎重にやり遂げましょう。	
2.報告	小川委員長より事業研修委員会からの報告			
	◇各委員会・部会について		ノミネートの岐阜工専さんは奨励賞に。	
	建築士の日フェスティバル、 建築甲子園事業 、建築関係講習会、建築相談部会、 応急危険度判定士派遣部会 、専攻建築士制度事業、 講習会事業 、運営事業、 建築技術講習会事業、 瑞浪市大湫宿プロジェクト 12月13日小原先生により実施済み			
3.会議	12月講義を終えて・1月講義確認事項・参加者状況・参加呼びかけ分担・3月見学会準備報告			
	アンケート・アジェンダ・事務局案内			
	講義1＋見学会：「カガミハラパークブリッジ」を中心とする講義＋見学会		交渉担当：村瀬さん	
	(9月3日延期)	タイムスケジュール	12:50 集合	師との昼食は、 11時30分 ロビー集合
	↓		13:00 解錠・準備	昼食は、委員全員参加予定。ビュッフェ形式
	令和5年1月28日 決定		13:45 受付開始	テーブル配置確定。
			14:00 開始・挨拶	
			14:10 岐阜県県産材流通課 中島様よりご講演	
	カギの受け渡し場所変更		14:30 飛騨五木 井端様よりご講義	
	プロジェクターの受け渡し場所変更		15:10 Tab 河合様よりご講義	
			15:50 施設へ移動	
			16:00 施設見学	先生お二人にそれぞれ見学者を付けて、2つにわかれる
			17:00 解散	(以降の時間帯での自由見学は可能か)
			17:30 各務原駅周辺意見交換会（井端様、河合様と）	
	参加予定人数	40名～50名	現在全 40 名程。最終段階、参加の声掛けしましょう。	
	開催日	令和5年1月28日（土）		
	講義場所	各務原産業文化センター 施設振興公社 058－371－2846		
	第3会議室 利用枠 13:00～17:00			
	受講料	一般 1000円（入館料400円含む）		
		学生 0円＋0円（入館料土会もち）		
	事務局	受講料を講義の時に頂戴する。領収書必要。入館料は予め支払っておく。		
	謝礼	講義いただく時間で、一律の50,000円（税別）を割ってきたので		
		飛騨五木 井端さん（40分） 25,000円（税別）		
		＋交通費 1000円		
		Tab 河合さん（40分） 25,000円（税別）		
		＋交通費 1000円		
		施設側へは、入館料として支払う 手土産は渡す（用意：瀧本）		
	集合場所	上記「講義場所」		
	集合手段	各自 直近のDMへ駐車場の明記、最寄駅情報の明記		
		周辺イベントに注意。駐車場で立ち往生。駐車場探し難民		
	岐阜県林政部県産材流通課より、中島様・古田様	交渉担当：瀧本		
	タイムスケジュール	上記をご了承		
	講演内容	カガミハラパークブリッジと県との関わり合い		
		県産材流通課と建築士会との関係構築、流通課側からのシステム構築		
	謝礼	なし	手土産は渡す（用意：瀧本）	

昼食予約 懇親会予約 15人ほどを想定して、お願いします。(夜担当：松岡副部会長) (昼：瀧本)	
手土産予約しておきます。(瀧本)	
アンケート用紙 最新版へ。石田さんへ送付お願いします。(担当：桂川さん、波多野さん)	
岐阜県資料 講演内容追加修正を聞き取りしておきます。(瀧本)	
青年委員会より、竹中様、藤原様ご参加くださいます。会の終了後、土会の備品は、全て青年委員会さんへお渡し。	
講義2 + 実験：木材と火の付き合い方、「焼き杉」青空講義 交渉担当：桂川さん	
(12月17日決定) タイムスケジュール	11:00 集合・焼き杉準備・会場準備・先生お迎え
大成功で終える事ができました。	
皆様の素晴らしい協力体制が、あつてのことです。	
先生との対話・準備をありがとうございました。	
会議での活発な意見をありがとうございました。	
確認不足部分の補填的提案をありがとうございました。	
実験用の道具・資材の調達をありがとうございました。	
参加者は総勢60名。呼びかけありがとうございました。	
当日の参加者へのフォローありがとうございました。	
各、担当を全ういただきました、ありがとうございました。	
兎にも角にもお疲れさまでした。ありがとうございました。	
・雨が降ったことでバタバタとしましたが、そんな困難な中でも実験で着火できて良かった。	
・建築士会HPへのアップ完了しています。	
・参加型の勉強会は、とてもよかった。座学とバランス良くやっていきたい。	
・体験型は、若い子にとってすごくいい。	
・Y産業さんのCMが長かった。(苦笑)	
・次を思うと、どうしようか考えなくては。リピーターをつくる工夫をしたいです。	
・最近、乾燥期とともに木造がよく燃えている。出火原因が追跡できるといい。	
・学生の参加が2人だけだった。会場へのアクセスの不便さが要因かも。	
・学生の送迎については、責任の所在からして今後は避けた方がいい。	
又謝礼	学生 0円
謝礼	50,000円(税別) + 交通費 + 宿泊費
	宿泊なし
集合場所	ヤマガタヤ産業 板蔵ファクトリー 1階エントランス
集合手段	各自。タクシー。(必要に応じて参加者へ。チラシに掲載は無し)
仕出し弁当予約 15人ほどを想定して、ヤマガタヤ産業さんへお願いします。11時30分事前懇親会誌(担当：瀧本)	
杉板の用意をお願いします。15mm以上×170×2m(3m)×9枚(担当：丸田さん、このころなら動けるようになります、ご追加) 焼き台の製作しています。(担当：村瀬顧問)	
講義会場のセッティングをヤマガタヤ産業さんへお願いしておきます。詳細は、人数が決まり次第。(瀧本)	

	青年委員会の皆様より、5名ご参加されます。懇親会・忘年会へも参加。			
	夜のセッティングを、予定16名～20名でお願いします。岐阜駅周辺にて。安井先生は、懇親会后帰路。（担当：内田さん）			
	第3案： 大阪方面見学会 担当：丸田さん、成瀬さん			
	（3月23日で決定）岐阜駅じゅうろくプラザ ～ 大阪木材仲買会館 ～ ラコリーナ近江八幡 ～ 岐阜駅			
	青年委員会さんへ声掛け 士会HPで参加呼びかけ、学生へチラシで呼びかけ			
	支出：232,500.- バス1台貸切（定員45名）			
	見学・撮影・動画作成・動画アップなどの計画策定をみんなで考えましょう。			
	<参加費設定> 学生：2,000円、一般：5,000円			
	タイムスケジュールはほぼ確定。（担当：成瀬相談役、丸田さん）			
	日程の見直しで3月23日で決定。行き先施設、建築説明者、バス予約確認済み。（担当：成瀬相談役、丸田さん）			
	学生への呼びかけ方法として、チラシ作成を1月28日に間に合わせて、参加者への配布。学校への郵送。			
	学生とのバス内質疑応答、建築甲子園の楽しさ報告、建築甲子園＋12月講義参加の2人は招待（無料）。			
	文化講演会VTR（藤森先生）を流していく。（竹中さんよりデータを拝受。1月13日）			
	チラシ作成後、青年委員会の皆様へ参加される方の聞き取りをお願いします。（竹中さん、藤原さん、お願いできますか）			
	ラコリーナ建築的な現地説明の依頼は可能でしょうか。（次回の議題となります。）			
	旅程を含めたチラシ作成（担当：松岡副部長）			
	第1案～第3案 実行予算組み			
	担当：瀧本 現段階で予算との差異は6万円オーバー。			
			講義	見学会
		4月12日実施	講師選定	見学場所選定
4.連絡事項	→ 1月28日参加状況	5月17日実施	講師交渉・役割分担	
	26名＋委員＋役員＝40名強	6月14日実施	チラシ草案	役割分担
		7月13日実施	チラシ作成	チラシ作成
	アンケートより次年度構想	8月19日実施	チラシ配布	チラシ配布
	坂茂先生、安井昇先生、構造の先生などなど	9月3日実施	講義①延期	延期案固め会議
		10月21日実施	チラシ配布	役割確認
		11月24日実施	参加者増員策	役割確認
		12月17日決定	講義②	実験・懇親会
		1月13日決定	参加者増員策	役割確認・次年度構想聴取しま
5.次回	第10回 木造塾	1月28日決定	講義①	見学・懇親会
	令和5年 2月10日（金）	2月10日決定	次年度構想聴取	役割確認・参加者呼びかけ
	会場 建築士会事務局会議室	3月15日頃予定	次年度講師決定	役割確認・参加者確定、把握
	13：30～15：30	3月23日で決定	0	見学会②